

令和	年	月	日
午	前	時	分
後			受領

令和6年8月19日

京丹波町議会議長 梅原 好範 様

京丹波町議会議員 山崎 裕二 ㊞

一般質問通告書

次のとおり通告します。(一問一答方式)

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 スクラップヤード条例について	<p>(1) 広く使用済みの物品や再生資源物の屋外での堆積や保管を規制する条例(以下、スクラップヤード条例)の全国における制定状況と地理的な傾向は。</p> <p>(2) 既存のスクラップヤード条例が成し遂げようとする目的を総括すると。</p> <p>(3) 既存のスクラップヤード条例における再生資源物、屋外保管、屋外保管事業者の定義は。</p> <p>(4) 既存のスクラップヤード条例において、事前協議ないしは説明会、記録、事故時の措置、報告、立入検査、指導・勧告、改善命令、公表、罰則などの条項が確認できる。それぞれの条項が意図するところを抽出すると。</p> <p>(5) 町においても、スクラップヤード条例が必要な様相を呈してきたと見据えるが、見解は。</p> <p>(6) スクラップヤードの設置を許可制とする条例を顧慮していくべきではないか。</p> <p>(7) 府に対してもまた、スクラップヤードに関する条例の制定を強く提言すべきではないか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
2 高齢者などのごみ出し支援について	<p>(1) 本人あるいは親族、地域の方などから、ごみ出しについて、困難が生じているといった相談が寄せられた事例はあるか。また、その際の対応はどのように行ってきたか。</p> <p>(2) 町において、地域のごみ集積所に自ら、ごみを排出することが困難で、かつ同居人や親族によるごみ出し支援を受けられない、加えて、ホームヘルプサービスなどを利用されていない単身者世帯はどのくらいと推計できるか。また、全世帯数に占める割合は。</p> <p>(3) 高齢者などのごみ出し支援を、なんらかのかたちで実施している地方公共団体数および府内市町村数は。看取できる背景およびかかる現状をどのように認識しているか。</p> <p>(4) 地方公共団体による高齢者等世帯に対するごみ出し支援に要する経費に係る特別交付税措置の概要は。</p> <p>(5) 高齢社会の課題に適応した廃棄物処理体制に移行していく必要性が顕著に現れている。町においても、制度を設け、高齢者などのごみ出し支援事業を行っていくべきではないか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>
3 医療費後払いクレジットサービスについて	<p>(1) 診療の事前に登録、診療の当日に受付することで、診療当日に、医療費の計算を待たずに帰宅可能な医療費後払いクレジットサービスのメリットを抽出すると。</p> <p>(2) 国保京丹波町病院や各診療所に、医療費後払いクレジットサービスを導入する考えは。</p> <p>(3) 償還払いを採用している高校生等医療費助成事業において、クレジットカードによる決済を行うことによって、医療費払い戻し日と引き落とし日がほぼ同時期にできるのではと較量する。クレジットカード払いによる申請への対応はできているのか。</p> <p>(4) クレジットカード払いに備えることによって、償還払いのデメリットはほぼ克服可能になると推し量る。登録申請書提出時などにあわせて、周知を試みてはどうか。</p>	<p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p> <p>町長</p>

質問事項	質問の要旨	質問の相手
4 備品の横断的利用について	<p>(1)聴覚に障害のある方や日本語を母国語としない方などの健(検)診受診の際、説明や問診などはどのように行われているのか。</p> <p>(2)本庁や支所に設置している音声認識文字化アプリ UDトークを搭載したタブレットや Raelclear(TM)レルクリアなどの透明ディスプレイを、健(検)診会場に予め準備しておくことによって、音が聞こえにくい方や多言語対応のコミュニケーションがスムーズになると慮る。幅広い活用を図っていくべきではないか。</p> <p>(3)学校 体育館に、スポットクーラーなどの設置が完了した。学校施設使用許可申請書に明記し、社会体育などでの使用時においても、冷暖房、扇風機などの備品利用を促していくべきではないか。</p> <p>(4)2022年度(令和4年度)新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業のうち、テレワーク環境整備事業として導入した機器(30台)の町職員在宅勤務制度実施要領にもとづく昨年度、本年度の運用状況は。</p> <p>(5)町情報セキュリティポリシーにもとづき、同機器の幅広い業務利用を有用かつフレキシブルに推し進めていくべきではないか。</p>	町長 町長 教育長 町長 町長
5 B&G財団による助成について	<p>(1)直近3年の京丹波町瑞穂B&G海洋センター内アリーナ(体育館)、武道場の利用用途、利用回数および使用人数は。また、使用頻度は、町の体育施設のなかで、どの水準にあるか。</p> <p>(2)同センターの出入口のバリアフリー化、トイレの洋式化、アリーナ(体育館)のLED照明化について、それぞれの改修時期、充当財源および改修理由は。</p> <p>(3)竣工から38年が経過する同センターの利用上の課題として、目下、どのような点が浮上しているか。</p> <p>(4)B&G財団は、建設後10年が経過し、経年劣化などにより、老朽化した施設の機能保全を目的とした修繕に対し、改修・修繕費用を助成する制度を設けており、毎年度、1件あたり平均2000万円ほどの助成を40件前後、工事決定している。なお、10年・15年連続「特A評価」の施設には、優遇措置もあるが、同センターはその評価・要件を満たしているか。</p> <p>(5)B&G財団へ、地域海洋センター修繕助成を申請し、屋根板金・防水の改修はもとより、天井張り替え、外壁防水・塗装などの内外装、武道場のLED照明化などのリニューアル工事を行ってはどうか。</p> <p>(6)B&G財団では、防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業として、防災倉庫の整備、油圧ショベルやスライドダンプなどの機材配備に加え、重機研修などの人材育成に係る支援を行っている。南丹市の協定締結を参考に、B&G財団に申請を行い、災害対応体制の充実に努めるべきではないか。</p>	教育長 町長・教育長 町長・教育長 町長・教育長 町長・教育長 町長
6 補助金等の適正化に向けたガイドラインについて	<p>各種団体への補助金はいったん創設されると、その効果などが十分に評価・検証されないまま継続し、長期化・固定化するといった課題を抱えている。</p> <p>少子化と超高齢社会が並行して急速に進展し、今後、財政状況がますます厳しくなると想定できるなかで、限られた財源を効率的・効果的なものにするためには、常に、補助金に係る検証を行うことが重要であると思料する。</p> <p>かかる状況から、各種団体への補助金に対する考え方を明確に示し、全町的な統一基準を制定した上で、必要に応じて、廃止・改善を行うとともに、引き続き存続する補助金は、交付手続きの適正化や効率性を高めるなどの改革を行っていく必要があると斟酌する。財政健全化に資すよう、各種団体への補助金等の適正化に向けたガイドラインを編纂すべきではないか。</p>	町長

1 質問の要旨は、具体的に記載する。

2 質問の相手は、町長、行政委員会の長、または監査委員とする。